

TDKについて

TDKは、世界初の磁性材料フェライトの工業化を目的として1935年に設立され、「創造によって文化、産業に貢献する」という創業の精神に基づき、様々な製品の開発と商品化に取り組んでまいりました。

今後も、私たちは、長年培ってきたエレクトロニクス素材における専門性とプロセス技術を統合し、お客様のニーズにきめ細かくお応えした革新的な製品を積極的に提供してまいります。

e-material solution provider は、そうしたTDKの新たな姿勢を象徴するキーワードです。

見直しに関する留意事項

このアニュアルレポートに記載されている将来の業績見直しは、当社及び当社グループ会社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいています。従いまして、これらの業績見直しのみには依拠することは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これらの業績見直しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

当社の主たる事業活動領域であるエレクトロニクス・ビジネス市場は変動性が激しく、また、当社は国内だけでなく海外においてもビジネスを行っているため、技術、需要、価格、競争状況、経済環境の変化、為替レートの変動、その他の多くの要因が業績に影響を与えることがあります。



contents

3

ステークホルダーの皆様へ

本年度のメッセージでは、CEO兼代表取締役社長である澤部が、新中期計画「Exciting108」の経過及び2002年3月期についての展望を説明しています。

7

Exciting108の進捗状況

「Exciting108」の成長率、戦略、収益性、資産効率について、目標と2001年3月期の実績をわかりやすく説明しています。

8

環境保全に関する取り組み

「Exciting108」では環境保全活動を重要課題と位置付けています。TDKの環境保全活動計画及び実際の活動を紹介しています。

9

最重点分野の通信と記録に注力

通信及び記録市場にフォーカスした戦略をTDKは重要と考えています。ここでは最新のテクノロジーを開発することにおいてTDKが最先端にいることを特集し、説明しています。

14

部門別売上高

セグメントごとの2000年3月期との業績比較及び主要製品を紹介しています。

15

営業の概況

2001年3月期の営業の概況についてセグメントに分けて説明をしています。各セグメントの主要製品の紹介もしています。

22

役員及び監査役

23

財務の概況

33

連結財務諸表